



# ふれあい 自然教室

## FUREAI SHIZEN KYOSHITSU

府中市教育委員会では、義務教育9年間を通じた小・中学校での宿泊行事の充実を図っています。

令和5年度から、府中市立中学校では、全ての中学校で1泊2日の宿泊行事として「ふれあい自然教室」を実施しています。

この「ふれあい自然教室」では、中学校におけるよりよい人間関係づくりを目的としており、学習の基盤や、教員と生徒、生徒同士の信頼関係を築くため、1年生の1学期の早い時期に実施しています。



# 1 「ふれあい自然教室」は、どこで行われるのですか。

「ふれあい自然教室」は、山梨県の富士五湖周辺で実施しています。

山梨県には、富士山や富士五湖など、日本が世界に誇る雄大な自然環境や、歴史・文化施設などが充実しています。府中市からのアクセスもよく、学習活動等の主要なスポットを短時間で効率よく移動できることも特長の一つです。また、宿泊施設が充実しており、医療機関を含めた、安全管理体制が整備された地域でもあります。

市立中学校では、各学校が学校独自の体験を計画し、工夫を凝らした魅力ある「ふれあい自然教室」を実施しています。



飯ごう炊さんを通じたふれあい ③



カレーライスを作りました。まずは、包丁を使って、にんじんや玉ねぎの皮をむいたり、小さく切ったりしました。それから、かまどに火を起し、カレーを煮たり、ご飯を炊いたりしました。仲間と協力しての野外での調理は、生徒たちにとって貴重な経験です。



自然とのふれあい 富岳風穴・鳴沢氷穴 ①



青木ヶ原樹海には、国の天然記念物にもなっている「風穴」と「氷穴」があります。これらの溶岩洞窟は、1,200年以上前にできたもので、1年中を通して、洞内の気温は0度～4度を保っています。ネイチャーガイドから、青木ヶ原樹海や溶岩洞窟の成り立ちなどについての解説を聞きながら見学しました。



アドベンチャーゲームを通じたふれあい ③



自然の中で、様々なアドベンチャーゲームを通じて、生徒同士がふれあうことによってコミュニケーションを深めました。ファシリテーターがよい雰囲気を作りながらゲームを進行し、生徒たちは、普段の学校生活では、見えづらい仲間の良いところに気づき、楽しみながら取り組みました。



自然とのふれあい 河口湖遊覧船 ②

天候が良い日には、河口湖に映る逆さ富士を見ることができます。



世界文化遺産とのふれあい 富士山世界遺産センター ⑤



日本人の自然観や、日本文化に大きな影響を与えてきた富士山は、2013年に世界文化遺産に登録されました。富士山世界文化遺産センターでは、富士山の魅力などを学ぶことができます。



レクリエーションを通じたふれあい ⑦

富士山アリーナでレクリエーションをしました。レクリエーションは緊張をほぐし、雰囲気や和らげるのに効果的で、ゲームを通して、クラスメイトとの交流を深めました。

天上山ハイキングを通じたふれあい ⑥



天上山は河口湖畔にあり、展望台に上れば、富士山を真正面に見ることができ、眼下には河口湖の風景が広がります。河口湖畔から天上山頂までは、1時間程度で登ることで、子供たちは、新緑を眺めながらハイキングを楽しみました。



最新技術とのふれあい リニア見学センター ⑧



山梨県立リニア見学センターでは、山梨リニア実験線での走行試験や、模型などの各種展示物を見学することができます。次世代の乗り物といわれる超電導リニアについて、学ぶことができます。



ほうとう作りを通じたふれあい ⑨



「ほうとう」は山梨を代表する郷土料理で、戦国武将の武田信玄が食したことで有名です。協力して生地をこね、のぼし、包丁で切って麺にしました。

自然とのふれあい 船津溶岩樹型 ④



高温の溶岩が樹木を取り囲み、冷えて固まったときに、燃焼した木の幹の跡が洞穴となったものを「溶岩樹型」と言います。ネイチャーガイドから説明を受けたり、溶岩樹型の洞穴をくぐったりしました。

## 集団の中で共に取り組み、共に学ぶ価値ある体験

中学校の時期の子供にとって、友人との関係は特別な意味をもちます。そのため、中学校の学習では、子供が対等な立場で、共同して新たなものを発見したり、作り出したりする関係を構築できることが重要になります。

「ふれあい自然教室」では、子供が自ら考えていくことで、自分たちの力で中学最初の宿泊行事を成し遂げたという実感が得られることを学習のねらいの一つとしています。また、中学校に入学したばかりの時期に、様々な体験を共にすることで、相互の関係を深めるとともに、集団生活の在り方について考えるなど、よりよい人間関係づくりにつなげることができます。

## 2 「集団活動」の大切さについて教えてください。

近年、子供たちの生活体験の不足や人間関係の希薄化、好ましい人間関係が築きにくいということが、課題の一つとして挙げられ、その問題の背景として、自然体験や集団活動の機会の不足などがあるとされています。

自然体験や集団活動の機会は、少子化、都市化、情報化等の社会の変化により減ってきており、集団行動を避ける子供や、集団の一員としての自覚や責任を十分認識できず、社会性ある適切な行動がとれない子供の増加が懸念されています。

学校の教育活動では、集団での活動を基本としており、様々な人との関わりや、集団で行動することで得られる成就感・達成感等を通じて、集団活動の意義を学び、集団を維持するために自らを律する精神や、子供たちの社会性を育てることを大切にしています。



## 3 どうして1年生の1学期に宿泊行事を実施するのですか。



府中市には、11校の市立中学校があり、市内の複数の小学校から生徒が進学してきます。また、中学校入学の時期に、他の自治体からの転入してくる生徒もいます。

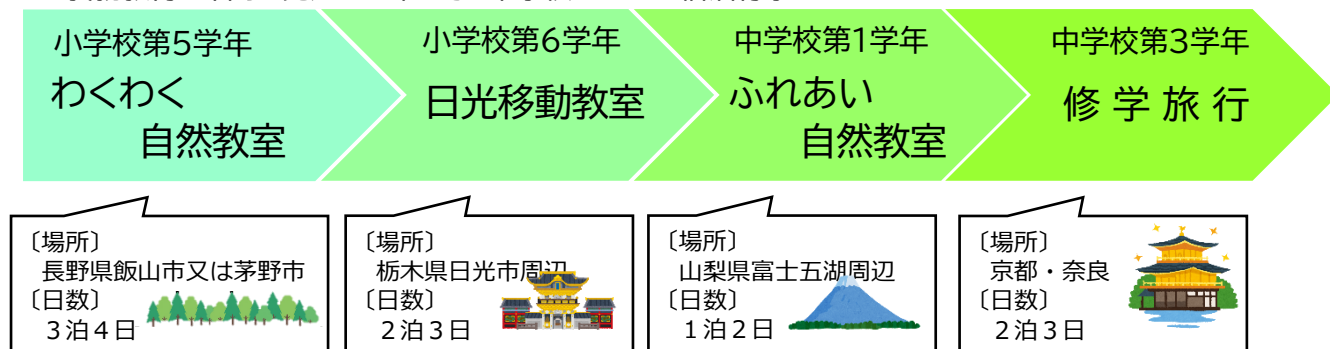
新しい友人との出会いや、学級担任制から教科担任制へ変わることなど、小学校と比べて多くの先生が関わることなど、中学校生活のスタートに当たっては、新しい学校生活に対する期待と、その一方で、不安を感じている生徒も多いと考えています。

宿泊行事では、訪問先の特色ある自然環境に触れたり、普段、経験できないようなことを体験したりします。保護者のもとを離れての集団生活を1年生の1学期に実施し、様々な体験をすることで、生徒と教員、生徒同士、生徒と訪問先の人々との人間的な触れ合いを深め、生徒一人一人に、仲間と共有できる楽しい思い出を作ることを行なっています。また、集団生活を通じて、基本的な生活習慣やルールなどを学び、互いを思いやり、共に協力し合うことで、よりよい人間関係を築く機会とします。

## 4 「ふれあい自然教室」以外にも宿泊行事はありますか。

府中市では、義務教育9年間を見通した系統的な学びの機会として、次のとおり宿泊行事を実施しています。

▼義務教育9年間を見通した市立小・中学校における宿泊行事



(参考) 府中市教育委員会ホームページ「令和5年度以降の市立小・中学校における宿泊体験学習について」

〔発行・問合せ〕

府中市教育委員会教育部学務保健課  
指 導 室

電話 042 (335) 4436  
電話 042 (335) 4063

